

## 付属資料－5 ワーキング会議の記録

### ■ ワーキング会議（第1回）

#### 1) 日時・場所

- と き : 平成24年8月17日(金) 15:00 ~ 17:00
- と ころ : 沖縄県庁5階第2会議室

#### 2) 出席者（敬称略）

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ○ 沖縄県 企画部企画調整課      | 下地跡地対策監、塩川主任    |
| ○ 沖縄県 土木建築部道路街路課    | 大城主任技師、照屋主任     |
| ○ 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 | 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事 |
| ○ (一財)都市みらい推進機構     | 高田              |
| ○ 玉野総合コンサルタント(株)    | 中垣、水野           |
| ○ (株)日本都市総合研究所      | 荒田、村山           |
| ○ (株)群計画            | 大門、安多栄          |

#### 3) 議題

- 平成24年度調査の方針確認

#### 4) 配布資料

- 実施計画書(案)
- 県内外専門家、学識経験者リスト
- 幹線道路網の配置等にかかる協議調整事項等(行政連絡会議)
- 県民フォーラムまでの全体スケジュール案

#### 5) 意見交換内容

##### ① 主要幹線道路について

- ・ 中間取りまとめにおける最終的な絵は、道路街路課の概略設計を反映して取りまとめを行いたい。
- ・ 行政連絡会議は、道路街路課での検討成果をオーソライズする場とイメージしていた。概略設計は縮尺1:2,500で作成するため、そちらが最終成果になるのではないか。
- ・ 現在、道路街路課調査では、これまでの跡地関連調査のレビューを行い、道路のコントロールポイントを図面に落とし込んでいる段階にある。例えば、沖縄自動車道との結節可能なスマートインターの位置は国道329号との接続を考慮する必要があるが、2か所くらいに

絞られるかもしれない。

- ・ 第1回の行政連絡会議では跡地調査側から幹線道路網配置の方針を提示するとともに、道路街路課からは宜野湾横断道路の方針（地上レベル等）やスマートインター等のコントロールポイント等の条件を提示して頂き、双方の方針を確認する場にしたい。
- ・ 用地の先行取得に耐えうる資料づくりが求められているため、道路街路課では、第1回行政連絡会議での方針を受けて、それを具現化する検討を進めたい。
- ・ 市でも宜野湾横断道路の配置が重要と考えており、市の道路関係部局も参加すべきと考える。行政連絡会議の前に関係者が集まって調整をした方が良いだろう。
- ・ 行政連絡会議は課長レベル、総合事務局は道路建設課からの参加を予定している。
- ・ 第1回行政連絡会議を9月中旬と仮定して作業を進めていきたい。議会は宜野湾市が9/7～、沖縄県が9/19～の予定である。
- ・ 中部縦貫道路の検討範囲は国道330号～県道81号線（宜野湾北中城線）、宜野湾横断道路の検討範囲は沖縄西海岸道路～国道329号までを予定している。今回業務には交通量推計は入れていない。

## ② 県民フォーラム、検討委員会について

- ・ 県民フォーラムの形式（講師二人 or 講師一人＋パネルディスカッション）、検討委員会の委員やスケジュール、意見交換会のアドバイザー候補者については、今回の提示案をもとに県市で方針を決めてほしい。
- ・ 県民フォーラムのスケジュールは、2/2（土）に予定されている「跡地利用計画提案コンペ発表会」を考慮して決めたい。

## ③ その他

- ・ 跡地利用推進協議会が来年5～6月に開催予定であり、中間取りまとめの報告も予定されている。中間取りまとめは3月中に取りまとめることが必須である。
- ・ 次回WGは9/3（月）～9/5（水）の何れかで開催したい。

以上

## ■ ワーキング会議（第2回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成24年9月5日(水) 15:30 ~ 17:40
- ところ : 沖縄県庁7階第4会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県 企画部企画調整課 下地跡地対策監、金城主任技師、塩川主任
- 沖縄県 土木建築部道路街路課 赤崎班長、大城主任技師、照屋主任
- 沖縄県 都市計画・モノレール課 照屋主幹、桃原主任技師
- 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事、内間主事
- (一財) 都市みらい推進機構 高田
- 玉野総合コンサルタント(株) 中垣、熊谷、水野、笹本
- (株) 日本都市総合研究所 荒田、村山
- (株) 群計画 大門

### 3) 議題

- 第1回行政連絡会議(道路)について
- 検討委員会等の委員について
- 県民フォーラムについて
- 作業経過報告

### 4) 配布資料

- 行政連絡会議資料(イメージ)、同参考資料
- 検討委員会委員候補(たたき台)
- 意見交換会、県民フォーラムの企画
- 検討委員会資料の骨子、「環境づくり」にかかる既定・関連計画の整理

### 5) 意見交換内容

#### ① 第1回行政連絡会議(幹線道路)について

##### (1) 幹線道路の見直し方針

- ・ 幹線道路の見直し方針は、広域緑地(普天間公園等)との関係を第2回行政連絡会議で整理することとしているが、第1回行政連絡会議までには整理できないか。
  - ⇒ 広域緑地と幹線道路が重なることの評価は現段階では困難であるため、有識者等との意見交換を通じて第2回行政連絡会議までに検討していきたいと考えている。
  - ⇒ 道路街路課では、昨年度調査の広域緑地を前提に検討をしているので、見直し方針図にも広域緑地を重ねて課題等を整理してほしい。
  - ⇒ 見直し方針図は、既存の都市計画道路等との位置関係や広域緑地調査の成果などを示し、起終点や線形の根拠を分かりやすくしてほしい。
  - ⇒ 跡地の東側一帯は隙間なく文化財包蔵地に指定されているため、現段階でどこを通過して良いかは分からない。このような制約条件のもとでの中間取りまとめであることを明確

にしておく必要がある。

## (2) 中部縦貫道路、宜野湾横断道路の構造等

- ・ 道路街路課では今後の維持管理等を考慮して中部縦貫道路、宜野湾横断道路とも『平面整備』を想定している。中部縦貫道路は国道 330 号の代替路線として、中央分離帯を設置し、宜野湾の国道 58 号バイパスのように側道や緑地帯を設けるイメージである。かなり広幅員になるが、建設コスト等は安価になるだろう。
  - ⇒ 中部縦貫道路の構造は、平成 22 年に道路街路課と協議し、堀割式構造では地域分断、景観面の課題があるため地下案を提案させていただいた。地下を通すと水脈を切るなどの課題もあるが、これらの評価ができないか。
  - ⇒ 地域分断は、どのような土地利用構成にするかにもよる。
  - ⇒ 現地調査に入れないため水脈の深さなどが不明であり、明確な評価はできない。
- ・ 宜野湾横断道路はハシゴ道路の一つであるため沖縄自動車道との結節を重視している。スマートインター設置箇所は、北中城 IC と西原 IC の中間程度というイメージ。
- ・ 道路用地は先行取得しなければならないので、構造に基づく幅員（面積）を決める必要がある。

## (3) 行政連絡会議、検討委員会の位置づけ等

- ・ 現地調査ができなく不確定要素が多い中での中間取りまとめであるため、検討委員会や行政連絡会議では、決定案でないことを認識してもらうことが重要である。
- ・ 県全体の幹線道路にかかる総合事務局との調整は 9 月下旬からはじめる予定であるが、ここでは道路ネットワークに関する協議が中心で、構造については議論しない。
- ・ 道路街路課では、普天間飛行場の文化財等を踏まえてコントロールポイントを見出した上で道路設計を行っており、これらの検討成果を第 1 回行政連絡会議で提示したいと考えていた。行政連絡会議はどのような位置づけか。
  - ⇒ 今回提示した見直し方針案などは、最終案ではないので、跡地と道路双方の計画条件を確認しながら一つのアウトプットにして、行政連絡会議で提示できれば良い。
  - ⇒ 行政連絡会議で幹線道路の平面線形、構造、幅員の方向性をだしきれるか。
  - ⇒ 行政連絡会議では、中間取りまとめで「どこまで決めるか」を合意できれば良いのではないか。
  - ⇒ 行政連絡会議では、幹線道路網の県市案をまとめたものを提示し、意見があればもらう形にしたい。
  - ⇒ 道路街路課で検討している中部縦貫道路、宜野湾横断道路の案は、9 月下旬の WG に提示して議論したい。これらを WG で議論し、その結果を取りまとめて行政連絡会議に提示するのが良いだろう。
  - ⇒ 第 1 回行政連絡会議は議会後の 10 月中旬くらいになる。
- ・ 検討委員会はどのような位置づけか。
  - ⇒ 土地利用、道路など全分野について議論する場である。
- ・ まちの中心をどこにおくか。
  - ⇒ 東西幹線道路 3-1 と 3-2 の間の街区がまちの中心部であり、必ずしも宜野湾横断道路と中部縦貫道路の中間点が中心になるものではない。

## ② 検討委員会の委員について

- ・ 検討委員会は小規模で開催することとし、内閣府と国交省総合政策局に相談する予定であ

る。

- ・ 岸井先生には委員長を打診する。稲田氏は委員会の委員より、アドバイザーとして具体的な相談をしたいと考えている。

③ 県民フォーラム、意見交換会について

- ・ 今年度は、中間取りまとめという節目の年であるため、県民フォーラムは、一部で講演、二部で地元からの情報発信として、若手会の中間取りまとめ発表や県コンペ発表を行ってはどうか。この方針でフォーラム全体の企画を考えてほしい。
- ・ 意見交換会のアドバイザーは、次回ワーキングで議論するのではなく、本日の資料をもとに県市でメンバー、候補日を決めて随時連絡をして頂きたい。その上でアドバイザーに連絡し、日程調整等を行いたい。

以上

## ■ ワーキング会議（第3回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成24年10月10日(水) 15:00 ~ 17:00
- と ころ : 沖縄県庁4階第1会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県 企画部企画調整課 下地跡地対策監、塩川主任
- 沖縄県 土木建築部道路街路課 赤崎班長、大城主任技師、照屋主任
- 沖縄県 都市計画・モノレール課 照屋主幹、桃原主任技師
- 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事、内間主事
- 宜野湾市 教育委員会教育部文化課 呉屋課長、森田係長
- (一財)都市みらい推進機構 高田
- 玉野総合コンサルタント(株) 熊谷、水野、笹本
- (株)日本都市総合研究所 荒田、村山
- (株)群計画 大門

### 3) 議題

- 検討委員会等について
- 全体計画の中間取りまとめ(第1次案)について
- 第1回検討委員会、行政連絡会議に向けて
- 意見交換会、県民フォーラムについて

### 4) 配布資料

- 検討委員会委員名簿(案)、検討委員会及び行政連絡会議の役割と構成員の考え方
- 全体計画の中間取りまとめ(第1次案)、論点
- 第1回検討委員会資料(第1次案)、同参考資料
- 幹線道路網計画検討資料
- 県民フォーラム(第9回) 開催要領(案)

### 5) 意見交換内容

#### ① 検討委員会等について

##### (1) 検討委員会

- ・ 検討委員会の開催日・会場は次の通りとし、時間帯は14~16時とする。委員は現在の案でほぼ確定である。
  - 第1回 11/20 (ツビソウ)、第2回 12/26 (フェイス)、第3回 2/1 (フェイス)

##### (2) ワーキング部会

- ・ 幹線道路網の検討は、『ワーキング部会』という位置づけで実施し、国(沖縄総合事務局)、

県、市の担当で構成する。

- ・ 第1回は10/25（木）、10/26（金）のいずれかで実施したい。

### (3) 行政連絡会議

- ・ 検討委員会に向けた全分野対象の幹事会的な会議を『行政連絡会議』という名称で実施する。行政連絡会議は県・市の関係課長から構成し、国（沖縄総合事務局）にはオブザーバーとしての参加を依頼する。

## ② 全体計画の中間取りまとめ（第1次案）について

- ・ 今後は、「中間取りまとめ」の最終的な姿を念頭に置きながら各種検討を進めていきたい。このため本日は「中間取りまとめ」の第1次案を作成してきた。全体的な書きぶりや文言等について確認頂き、今後のワークで意見交換していきたい。
- ・ 「中間取りまとめ」は第2回検討委員会で提示するイメージである。

## ③ 第1回検討委員会、行政連絡会議に向けて

### (1) 第1回検討委員会資料

- ・ 委員の方には資料を事前送付する必要がある。特に、第2回検討委員会までに「中間取りまとめ」（第1次案）を詰めて、事前送付した上で意見を頂きたい。委員の中には、地権者意向などに関心のある方もいるだろう。
  - ・ 「基本方針」が土俵であることを理解して頂くために、第1回検討委員会では、これまでの経緯を詳しく振り返るとともに、現時点の地権者意向などを紹介するのが良いのではないか。
  - ・ 資料は事前送付し、検討委員会ではそれを補完する程度の説明を行う。「中間取りまとめ」は、たたき台的に最初からだしても良いのではないか。
  - ・ 宜野湾市の合意形成・文化財・自然環境調査等の成果や宜野湾市や跡地の現況なども情報提供する必要があるのではないか。
- ⇒ 基本方針策定時には、各種基礎情報を参考図集（A3）として配布し、横に置いておいた。この新しいバージョンを作成するのが良い。
- さらに、膨大な関連調査に取り組んでいることを説明した方が良いだろう。
- ・ 第1回の資料構成・資料内容は、県・市で相談して検討したい。参考資料集は共同企業体で考えておくこと。
  - ・ 検討委員会の進行や説明の担当は、今後考えていきたい。
  - ・ 資料中に「国、県、市で協議調整・・・」、「国、県、市・・・の参加による計画づくり」などの記載がある。幹線道路検討での国（沖総局）はオブザーバーなので、並列で記載しない方が良いのではないか。

### (2) 幹線道路網の検討

- ・ 「宜野湾横断道路の地下構造より水脈の方が相当深いものと想定」とあるが、この根拠となる資料はあるか。
- ⇒ 参考程度の資料であるが、概略の断面図からは、宜野湾横断道路の地下部分は地下水層を阻害しないのではないかという判断である。ただし、これは地下水層だけに着目しており、琉球石灰岩部分の洞穴などは考慮していない。
- ⇒ 一つの断面だけでなく、平面的に断面を見る必要がある。さらに、この断面は概略の

概念図なので、この絵から「宜野湾横断道路の地下構造が地下水層の上にあると想定」とは言えない。

- ⇒ 現在、地下水層の深さ等における詳細データがなく、宜野湾横断道路の位置も見定まっていない段階のスタディである。当然、今後の基地内の詳細調査を踏まえて検証していく必要がある。
- ・ 宜野湾横断道路を国道 58 号と平面交差させる必要性は低いのではないかと。
  - ⇒ 中部縦貫道路は都市幹線道路を併設することになるが、宜野湾横断道路は都市幹線道路と共用とすることも可能ではないか。  
宜野湾市都市マスタープランでも格子状のネットワークを形成する方針になっており、都市幹線道路のネットワークとしては、国道 58 号とのタッチが必要になる。
  - ⇒ 宜野湾横断道路は、広域計画ではハシゴ道路と位置づけられているので、西海岸道路、沖縄自動車道を連絡することが大前提になり、貨物などが通るイメージ。
  - ⇒ 都市幹線道路は、適切な網密度で格子状ネットワークを形成することが方針としてある。そこに主要幹線道路がずれた位置に入ってくると、まとまった土地利用ができなくなる。宜野湾横断道路が相当の交通を捌く必要があるなら、トンネルにするのが良いのではないかと。
  - ⇒ 宜野湾横断道路と国道 58 号は、ランプ構造で結べば良いのではないかと。
  - ⇒ 市としては、宜野湾市全体のネットワークを考えると、都市幹線道路は国道 58 号と接続させたい。
- ・ 宜野湾市の西海岸地域は、有効利用に向けた開発が 1 つのテーマになっている。道路街路課案は、その地区を分断する線形なので開発の制約になる可能性がある。
- ・ 跡地東側は道路が文化財を分断せざるを得ないが、最重要遺跡があって、そこは避ける必要があるなどの配慮事項はあるか。
  - ⇒ 文化課としても現地調査に入らないと分からないという面があるかもしれないが、全体として、そのようなリスクがある中での「中間取りまとめ」である。
- ・ 中部縦貫道路と東西幹線道路の平面交差は、どのような構造になるか。
  - ⇒ 中部縦貫道路の副道と東西方向の都市幹線道路は平面交差させたい。その交差箇所では中部横断道路（主要幹線道路）を上下に分離せざるを得ない。
- ・ 既成市街地に新たに幹線道路を整備することについて、市としてはどう考えるか。
  - ⇒ 都市マス作成当時は、「普天間飛行場の返還を契機に、これまでにないまちづくり」と謳ってはいる。具体的には地権者や市民と話し合いながら進めていく必要がある。
  - ⇒ 道路線形等については、既成市街地にもかかわる事項なので、できるだけ宜野湾市の考えを反映していきたい。
  - ⇒ 宜野湾市としての考えは、ワーキング部会で都市計画課や区画整理課も含めて議論していきたい。

#### ④ 意見交換会、県民フォーラムについて

- ・ 意見交換会は、全ての人選が終わらなくとも、確定した方から順次はじめることにしたい。県・市で調整した上で連絡してほしい。
- ・ 県民フォーラムは、コンベンションセンターの空き状況から 2/13（水）で決定。

以上

## ■ ワーキング会議（第4回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成24年10月29日(月) 10:00 ~ 12:00
- と ころ : 沖縄県庁7階第1会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県 企画部企画調整課 下地跡地対策監、塩川主任
- 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事、内間主事
- (一財) 都市みらい推進機構 高田
- 玉野総合コンサルタント(株) 笹本
- (株) 日本都市総合研究所 村山
- (株) 群計画 大門

### 3) 議題

- 検討委員会、行政連絡会議について
- 全体計画の中間取りまとめ(第1次案)について
- 第1回検討委員会、第1回行政連絡会議に向けて
- 意見交換会、県民フォーラムについて

### 4) 配布資料

- 普天間飛行場跡地利用計画アドバイザー(候補者)
- 第1回検討委員会資料(第2次案)、同参考資料集

### 5) 意見交換内容

#### ① 今後のスケジュールについて

- ・ 意見交換会は第1回検討委員会までに4回(以下①~④)行いたい。日程調整、アドバイスを受ける事項の整理をしておくこと。
  - 11/12(意見交換会)・・・①地盤環境、②地下洞穴、③地下水涵養
  - 11/13(意見交換会)・・・④交通
  - 11/14(道路ワーキング)
  - 11/15午後(行政連絡会議):共同企業体からは2~3名出席すること。
  - 11/20(第1回検討委員会/ジュビランス)
- ・ 第1回検討委員会後に、石川先生、稲田氏と意見交換を実施したい。石川先生は2回程度行ってもよいと考えている。歴史についての意見交換はペンディング。石川先生とは岸井先生の事前打合せ時(12/14)に東京でセットできればよい。
- ・ 11/6の岸井先生の事前説明には、検討委員会資料に加えて道路ネットワークについても相談したい。

## ② 検討委員会について

- ・ 設置要綱の作成、委員への委託、開催通知等は共同企業体が対応する。
- ・ 「全体計画の中間取りまとめ」をどのレベルで出すかについて岸井委員長とも事前に相談したい。
- ・ 検討委員会資料は、以下の4種類とする。
  - (資料1) これまでの取組経緯と「全体計画の中間取りまとめ」の枠組み
  - (参考資料1) 基本方針
  - (参考資料2) 行動計画
  - (参考資料集)
- ・ 資料1と考資料集は、21世紀ビジョンや新法を追加しておくこと。また、参考資料集の「全体計画の中間取りまとめ」(案)と「広域緑地(普天間公園等)の計画方針」については、内容を充実すること。
- ・ 「全体計画の中間取りまとめ」は今年度策定することになっている。
- ・ 「全体計画の中間取りまとめ」に対する意向調査は来年度、今年度は昨年度作成したパンフレットに基づいて環境づくりについての意向調査をしてはどうか。
- ・ 何が変えられて、何が変えられないか。基本方針は変えられない。具体化する絵は変えられる。この話をしないと検討委員会もぶれてしまうだろう。「中間取りまとめ」は「たたき台」であり、来年度に意向調査をすることを明確にしておくことが必要だろう。
- ・ 基本方針や行動計画は決まったものであるが、中間取りまとめは「たたき台」であり、絵や機能導入などはフィックスでないことを伝える必要がある。「中間取りまとめ」からスタートするということだろう。
  - ⇒ 道路や公園の位置は現地調査の状況で変わり、機能導入も経済状況などにより変わる。これらをしっかり整理しておく必要がある。「中間取りまとめ」を作成し、そこからスタートするが、基本的な考え方は変えない。

以上

## ■ ワーキング会議（第5回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成24年12月19日(水) 16:00 ~ 18:00
- と ころ : 宜野湾市 別館1階 職員厚生室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県 企画部企画調整課 下地跡地対策監、塩川主任
- 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事、内間主事
- (一財)都市みらい推進機構 高田
- 玉野総合コンサルタント(株) 水野、笹本
- (株)日本都市総合研究所 荒田、村山
- (株)群計画 大門

### 3) 議題

- 県民フォーラム、意見交換会等のスケジュールについて
- 県民意向調査について

### 4) 意見交換内容

#### ① 県民フォーラムの日程、内容について

- ・ 県民フォーラムは、県議会・市議会との関係を考えると3/8(金)が第一候補になる。
- ・ 今回の県民フォーラムでは、講演、「中間取りまとめ」(委員会案)の報告、パネルディスカッションを行いたいと考えている。池田先生にはパネルディスカッションのコーディネーターをお願いする予定である。
- ・ 講演を行うと時間が足りなくなるのではないかと。「中間取りまとめ」(委員会案)の報告を行い、それを踏まえてパネルディスカッションを行うのが良い。
- ・ 「中間取りまとめ」(委員会案)の絵は出し方に配慮する必要がある。今後、地権者や県民等の意見を聞きながらまとめていくという趣旨を明確に伝えることが重要である。
- ・ 「中間取りまとめ」(委員会案)の報告をメインにするのであれば、岸井委員長、池田副委員長に参加頂くのがよいのではないかと。両先生と日程等について相談したい。

#### ② 県民意向調査(アンケート)について

- ・ 2月中旬を目処に「中間取りまとめ」(委員会案)のパンフレットを作成し、情報提供を行うとともに、県民フォーラムに先立ってアンケートを実施したい。アンケート期間は1ヶ月程度を想定している。
- ・ パンフレット、アンケートは県民フォーラムでも配布する。
- ・ 来年度は県・市が作成する「中間取りまとめ」の報告とアンケートを行う予定であり、セールスポモーションに向けてパンフレットも美しいものにする必要がある。

以上

## ■ ワーキング会議（第6回）

### 1) 日時・場所

- と き : 平成25年1月17日(木) 15:00 ~ 17:00
- と ころ : 沖縄県庁7階 第4会議室

### 2) 出席者（敬称略）

- 沖縄県 企画部企画調整課 下地跡地対策監、塩川主任
- 宜野湾市 基地政策部基地跡地対策課 田場次長、仲村係長、渡嘉敷主事
- (一財)都市みらい推進機構 高田
- 玉野総合コンサルタント(株) 水野、笹本
- (株)日本都市総合研究所 荒田、村山
- (株)群計画 大門

### 3) 議題

- 第3回検討委員会、行政連絡会議について
- 県民フォーラムについて
- 意見交換会について
- その他

### 4) 配布資料

- (資料-1) 第2回検討委員会における主な意見と対応方針(案)等
- (資料-2) 検討委員会の提言 全体計画の中間取りまとめ(委員会案)
- (資料-3) パンフレット
- (参考資料1) 「全体計画の中間取りまとめ」(委員会案)の位置づけと流れ
- (参考資料2) 「土地利用及び機能導入」に関する参考事例集

### 5) 意見交換内容

#### ① 第3回検討委員会資料について

- ・ 「跡地利用構成図」は、「配置方針図」に文言を修正すること。
- ・ 次回検討委員会で「イメージ図(パース)」について同意を得ることは難しいため、中間取りまとめの冊子にはイメージ図を掲載しないこととし、地権者や県民の方が見るパンフレットに参考事例の写真等を入れることにしたい。
- ・ イメージ図(パース)は、今年3月までに作成して公表するか。  
⇒ 今年度調査成果としてイメージ図(パース)を作成することになっている。検討委員会の委員の中で建築等を専門とする委員に相談しながらイメージ図(パース)を作成し、3月の審議委員会に提示したい。
- ・ 「全体計画の中間取りまとめ」(第1次案)に対して多数の意見を頂いた委員については、これまでの経緯等を個別にご説明することも検討したい。

- ・ 「配置方針図」における中部縦貫道路、宜野湾横断道路、公共交通軸の表現をどうするか。  
⇒ 中部縦貫道路、宜野湾横断道路は、現段階の検討成果を反映した線形とし、破線で表現したい。鉄軌道は線形を表現できる段階ではないので工夫したい。具体的には明日の幹線道路ワーキング部会で調整する。
- ・ 今年度に県市が策定する「全体計画の中間取りまとめ」は、庁議にかけない方向で考えている。

② 県民フォーラムについて

- ・ 県民フォーラムは、3/9（土）、3/10（日）に沖縄コンベンションセンターで開催する方向に進めたい。まずは講演者、コーディネーターと日程調整を行い、次の段階でパネリストの選定、日程調整を進める。

③ 県民意向調査（アンケート）について

- ・ アンケートは2月中旬から開始し、3月中旬まで行いたい。
- ・ アンケート結果の回収は、郵送や沖縄県や宜野湾市のロビー等に回収箱を設置することで対応したい。

以上